

# ルートバートラック 行程

## 1日目 The Divide to Lake Mackenzie

**①** 12km (7.5 miles) ルートバートラックガイド付きトレッキングの初日はクイーンズタウンからディバイド峠までの3時間のバスの旅が始まります。ディバイド峠到着後、ガイドからその日の旅食が配られます。ディバイドからキーサミットへの分岐点まではなだらかな登りです。トラックの道幅は広く、良く整備されています。この区間は、低山の銀ブナの森林を歩きます。キーサミットに登る際、お荷物は分岐点に置いて行っ下さい。キーサミットから下り、再び荷物を置いてからハウエン湖の小屋まで歩きます。そこではガイドが暖かいお飲み物をご用意致します。

ランチの後、落差80メートルのアランド滝まで銀ブナの森の中を上って行きます。ここはコースの中で最も降水量が多い場所になります。12月、1月にはトットククウィ(ラン科)が咲き乱れます。滝周辺が洪水の場合には、ガイドが迂回路をご案内致します。アランド滝を後に、オーチャードまでは山腹を横に見ながら歩いて行きます。オーチャードを越えると15分ほどの登りが続き、その後はマクケンジー湖のロッジまで急な下りです。写真を撮るには夕方が一番美しく、お勧めです。



## 2日目 Lake Mackenzie to Routeburn Falls

**①** 11km (6.9 miles) この日は、マクケンジー湖からの登り、ハリス・サドルへ向けてホリフォード・フェイスの横断、そしてルートバーン滝までの下りの3つの区間に分けられます。まずマクケンジー湖からオーシャン・ピーク・コーナーとホリフォード・フェイスに向けて登山道をジグザグと登ります。傾斜地ではニュージーランド固有の花々が咲いていますが、その多くが白か黄色。花粉を媒介するハエや蛾が色の識別ができない昆虫だからです。眼下には樹木に覆われた水河が残した巨石の丘(モレーン)によって堰止められたマクケンジー湖が見ることが出来ます。オーシャン・ピーク・コーナーでは、目の前にターラン山脈、彼方にタスマン海、眼下にホリフォード渓谷という大展望が広がります。ホリフォード・フェイスは全行程において視界が最も開け展望が楽しめる区間です。登山道沿いにはラージ・マウンテン・デージーやマウントクック・リリーなど数多くのニュージーランド固有の花々が見られます。

ハリス・サドルでランチ休憩。オプションのコンカルヒルへの登山ではエーデルワイスをはじめとする高山植物や南島西海岸のマーティンズ湾の眺望が楽しめます。ハリス・サドルからの道はハリス湖を回り込み、ルートバーン渓谷の上流域を下っていきます。ルートバーン・フォールズ・ロッジはこの懸崖谷の出口に位置しており、300mの落差を何段にもなって草原まで流れ落ちるルートバーン滝の素晴らしい景観が堪能できます。

## 3日目 Routeburn Falls to Routeburn road

**①** 9km (5.7 miles) 滝周辺のドラマチックな風景を満喫した後は、さまざまな種類のブナの木が豊かに混在する森の中をルートバーン・フラットの草原まで下っていきます。陽当りの良い北斜面には赤ブナが分布しています。鳥のさえずりや森の住人といわれるカカ(クア)と同属)を探してみてください。森ではブナの木が薄い表土に根を広げ、時にはむき出しになった根がお互いに絡ませています。一つの木が滑り落ちると他の木の根も一緒に引っこちられ、木のなだれが起きます。1994年に木のなだれが起きた場所を横断します。



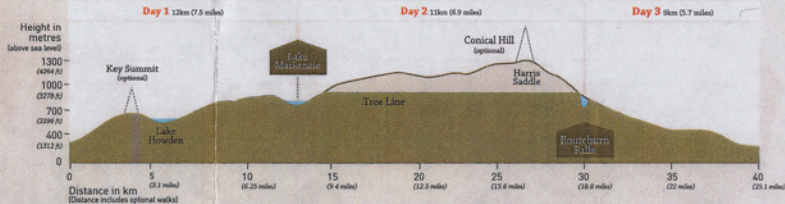
平らな草原を過ぎるとルートバーン川に沿って下っていきます。川岸でランチ休憩。昼食後はトラックの終点ロード・エンドまで平坦なブナの森を歩きます。トラック終了後はバスに乗りし、景色のよいグレン・キー・ロードを通過してクイーンズタウンへ向かいます。途中グレン・キーに休憩のため立ち寄ります。

## キー・サミット

オプション・ウォーク。分岐点に荷物を置いて頂上を目指します。頂上からは眼下に3つの渓谷が見えます。グリーンストーン川は東に、エグリントン川は南へ、そしてホリフォード川は西へと、それぞれ谷に流れる川は、3つの異なる海岸線へ流れています。春・夏の季節にはこの高層湿原に、蘭、デージー、リリーなどこの地域特有の花が咲きます。食虫植物のモウセンゴケの生息地でもあります。



キー・サミット



Sundew



Snow Gentian



Mount Cook Lily



Pineapple Scrub